

事務事業チェックシート

事務事業No 763 事業名 地場産業振興事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	1	地域を支える既存産業の振興
施策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	2	歴史と伝統ある産業の持続的な発展をめざすためのブランド化

事業種別	継続	
事業期間	H25 ~	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	商工振興課	清水 出(435-1233)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		通商産業振興費	
	大事項		通商産業振興事業	
	事項		地場産業振興事業	

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	工業団体が実施する需要開拓等の事業に要する経費の一部を補助することで本市地場産業の振興を図る。 わかちか広場の再整備及び管理を行う。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。 ・地場産業技術向上支援事業補助金 ・地場産業取組開拓等支援事業補助金 等 わかちか広場の管理。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。	工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。
					わかちか広場再整備に伴う実施設計をもとに整備工事を行う。整備工事後のわかちか広場の管理を行う。	

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	6,100	5,660	6,153	5,955	11,084	9,517	101,407		13,725	
伸び率 (%)	-	-	0.9%	5.2%	80.1%	59.8%	814.9%	▲100.0%	▲86.5%	-
人件費	正規職員	3,368	4,156	4,156	5,025	5,025	5,049	7,068		7,068
	正規職員以外									
小計	3,368	4,156	4,156	5,025	5,025	5,049	7,068		7,068	
国庫支出金					3,800	3,800	43,031			
県支出金										
市債							38,700			
その他										
一般財源 (税等)	6,100	5,660	6,153	5,955	7,284	5,717	19,676		13,725	
所要人数 (人)	正規職員	0.45	0.56	0.56	0.66	0.66	0.64	0.89		0.89
	正規職員以外									
主な予算内訳	負担金補助及び交付金6,020千円、わかちか広場管理委託料7,134千円 わかちか広場整備工事費85,000千円等									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 工業団体が行う各種展示会開催・出展数	事業	目標値	8	8	8	8	8
		実績値	8	7	7		
		達成度 (%)	100.0%	87.5%	87.5%		
成果指標 粗付加価値額 (工業統計調査)	億円	目標値		5,747	5,805	5,863	5,922
		実績値					
		達成度 (%)					
		目標値					
		実績値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	各工業団体がおこなう各種展示会の開催や出展等の事業への補助により、国内外のバイヤーや一般消費者に対して新たな販路開拓や当市地場産業をPRすることができた。 継続的に展示会等に出展しPRすることにより国内外の人に認知してもらうことで販路拡大に繋がるため、今後も販路開拓の支援や人材育成の分野でも支援が必要。
見直し・改善内容	引き続き国内外での展示会や出展を行い、販路開拓を図るとともに和歌山ブランドの育成にも寄与する。 今後、より効果的な販路開拓が図ることができる展示会への出展を検討していく。 また、人材育成には時間を要するため中長期にわたり支援を行っていく。